



A0

70



天保改正

児女日用

女今川操花園 全

寶訓秘要

甘泉堂藏版

女今川

天性

かたくなま
すもよ
とみい
おのあけ
さふちか

今川よちか
おのあけ
さふちか
かたくなま
すもよ
とみい
おのあけ
さふちか

たひやよ
さいぎを
むえきさ
けんふで
ちのみね
火性
たつえあ
いほつゆ
やのみね



一番き女ふき
もろくはつて
あけし事
少き漢てあ
ふまぬとく
人きうひる

とひあつ
きねはる
きんせ
かうおま
たはさつ
らいも
こ乃里加
くのふせ
なまかや
土性



一番き女ふき
もろくはつて
あけし事
少き漢てあ
ふまぬとく
人きうひる

色とよき
 海つゆき
 さんたれ
 ちやあす
 いやあ
 かんこあ
 ちんる
 いくりん
 こけはち
 さきせれ
 以ーちく

一夫とわん一
 ままとまう天
 力派おる事
 道に省ふと
 業はものとう
 中へふふ

金性



むらつま
 りきをな
 あるまう
 てけそめ
 たちをせ
 すいてる
 ちまひや
 すまはや

一正曲かしてねと
 海へる人をめら
 しむ事
 一たびたをて
 座を集りて
 己ぬきまきね

ながきみ
 よねせん
 さまそく
 ふんえん
 いちあん
 さえく死



一煙をうて煙垢
 心細く人ね
 物に死する事
 女の権利振ふ
 するい百事に
 付金を儲るの

やあどら
 どんきだ
 ちらとえ
 ひあふね
 ちのきく
 いもきせ
 すかやと
 女中四巻の夏
 書筆
 横山業安の
 えんき思ひなげと

一人の中まとい
 いふねをい
 力に楽事
 衣類のきき
 大番とく
 石はつる事

[illegible]

一玉家沙つゝ射
 面おもていゝ左
 側おもていゝ
 一我を際まで
 うゝいゝわを
 我らふ是の事

一、^{げん}人^たは^お無^いと
 疾^{はや}く^ま石^いは^つの^わ
 心^{こころ}は^さら^うの^う
 一^{いち}男^{おとこ}は^うも^うら^う
 少^{すく}く^う人^{ひと}は^た
 誠^{まこと}を^うけ^るか

詠歌
女心を付のやう
きか身とてあはれ
バあなとむづか

一 体 ^リ まに ^い 疎 ^ち りて
 他 ^た 人 ^{ひと} は ^あ ら ^や げ ^は せ
 恥 ^ち づ ^る 事 ^{こと}
 一 男 ^{おとこ} は ^お ら ^は じ ^に 色 ^{いろ}
 ま ^ま ち ^ち 親 ^{おや} 類 ^{るい} ち
 ま ^ま ち ^ち 恥 ^ち づ ^る 事 ^{こと}

事やふ人の心と
 やいびあまら
 さねあまの
 家よりあまら
 文はあまら
 家よりあまら
 初めあまら
 けいあまら
 あまらあまら
 あまらあまら
 あまらあまら

一 道より人
 通より人
 直と電する車
 一人来りあまら
 娘に何せうと
 うらけにのめ



弾琴
 糸竹のふく
 あれはあまら
 のふくあまら

有し隙より
 うらけにのめ
 むねより
 いふも
 しじた
 家より

かねて来りて
 よそに代りて
 も天の空は
 みとまじと
 かたき
 深き
 松林の
 まの
 す
 ま
 なる

奥に
 とまじ
 奥に
 して
 和

女中

久
 行く
 あり
 六



天
 天
 天
 天

[illegible][illegible]

ゆのこをわち
けあをひを
かゝるこころ

裁縫仕やう

何れをもするを
かゝる愛て人の
まゝに縫ひたなら
なれぬいふを
けのう肉での
まゝに縫ひたなら
外で入るなれ

知るもの習ふべし
男子は服を縫ふと
修る道と習ふべし
有るものも縫ふ
きつものも縫ふ
女は法あるものも縫ふ

ておれをいふ
あるものを縫ひ
かゝる愛て人の
まゝに縫ひたなら
なれぬいふを
けのう肉での
まゝに縫ひたなら
外で入るなれ



きつものも縫ふ
女は法あるものも縫ふ
男子は服を縫ふと
修る道と習ふべし
有るものも縫ふ
きつものも縫ふ
女は法あるものも縫ふ

山、野、草、花、鳥、虫、
 一、也、面、白、粉、と、
 王、監、政、と、
 中、心、の、ゆ、ゝ、
 重、久、人、と、
 重、久、人、と、
 重、久、人、と、

まゝに
 由よに貪むさむ
 美利妻みりつまより
 まちのまじり
 人ひとに疎そまれぬ

思^{おも}ひて^ても^もの^の言^{こと}を
 言^{こと}ふ^ふ人^{ひと}は^はあ^あら^らま^まに^に
 中^{ちゆう}の^のま^まに^にあ^あら^らま^まに^に
 言^{こと}ふ^ふ人^{ひと}は^はあ^あら^らま^まに^に
 言^{こと}ふ^ふ人^{ひと}は^はあ^あら^らま^まに^に

正月のちの日 二月のちの日
 三月のちの日 四月のちの日
 五月のちの日 六月のちの日
 七月のちの日 八月のちの日
 九月のちの日 十月のちの日
 十一月のちの日 十二月のちの日

國 日 石 知 正 乃
 土 月 子 魚 一 乃
 と の の 一 か 乃
 と の 乃 乃 乃 乃
 と の 乃 乃 乃 乃

正月	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日
正月	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日

たふぶく
うみはる
しきふ
にきふ
あふは
あふは

○甘泉堂藏板目錄

女用文章操囊 百人一首千代縁
女文章石山詣 改正男女一代八卦
女今川操苑園 ぶうけ百人一首
永曆六ざつ書 金平往來
十二月花鳥往來 管相照十二月文章
管家御遺訓書 百番御詠歌中本共
御家改春帖 牛本向折本全一冊
十露盤誓古鑑 折本全一冊

東都

書物地本
錦繪草紙問屋

芝神明前三島町

和泉屋市兵衛板